

**第 10 期仙台市介護保険事業計画
策定のための実態調査報告書
(速報版)**

【要介護者等調査】

**令和 8 年 3 月
仙台市**

調査の実施概要

1 調査の目的

仙台市介護保険事業計画策定のための実態調査（要介護者等調査）は、第 10 期仙台市介護保険事業計画（計画期間：令和 9 年度～令和 11 年度）の策定にあたり、保険給付の将来推計の基礎となる介護サービスの利用状況・利用意向を把握するとともに、負担とサービスのあり方や保険外サービスの利用状況など、介護保険事業を含む本市高齢者施策に関する要介護者等の現状を把握することを目的として実施しました。

2 調査概要

調査対象者	令和 7 年 9 月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有しており、かつ、要介護認定等を受けている約 54,000 人から無作為抽出した方	5,000 人
調査方法	郵送方法にて実施（調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送）	
調査基準日	令和 7 年 11 月 1 日	
調査期間	令和 7 年 10 月 31 日～11 月 26 日	
調査票の設問内容	1 調査対象者の属性について	
	2 在宅で暮らしていくために必要なことについて	
	3 介護保険に関する情報について	
	4 介護保険料について	
	5 在宅サービスの利用状況と満足度について	
	6 在宅サービスの利用限度額について	
	7 在宅サービスの今後の利用意向について	
	8 在宅サービスを利用していない理由と今後の利用意向について	
	9 介護保険以外の高齢者福祉サービスの利用状況と今後の利用意向について	
	10 安否確認について	
	11 今後介護を受けたい場所と施設への入所申し込み状況について	
	12 施設入所者の状況と満足度について	
	13 介護サービスに不満があった場合の相談先について	
	14 介護サービスの利用者負担について	
	15 仙台市への意見・要望について	
	16 介護者について	

※調査票は、在宅生活者用の調査票と、施設入所者が回答する設問のみを抜粋した施設入所者用の調査票の 2 種類を用意しました。

3 調査の回答状況

調査票区分	配付数	有効回収数	有効回収率	集計対象数	集計対象率
介護保険事業計画策定のための 実態調査	5,000 人	3,247 人	64.9%	3,239 人	64.8%
介護保険事業計画策定のための 実態調査（在宅生活者用）	4,800 人	3,078 人	64.1%	3,075 人	64.1%
介護保険事業計画策定のための 実態調査（施設入所者用）	200 人	169 人	84.5%	164 人	82.0%

※有効回収数とは、郵送による回答を収受した数で、そのうち調査ができない（「仙台市外に転居」「死亡」等）と回答した方を除いたものを集計対象数としています。なお、調査ができないと回答しながらも、問1以降の設問に回答があった場合は、有効回答とみなし、集計対象数に含めています。

4 報告書の見方について

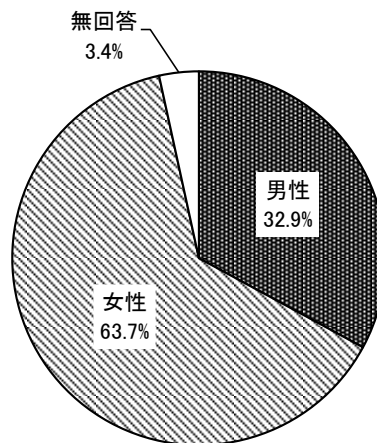
- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- (4) 図表及び文章中では、選択肢の語句を一部省略している場合があります。

調査結果の概要

(1) 性別

性別については、「男性」が 32.9%、「女性」が 63.7%となっています。

全体 n=3,239



《参考》

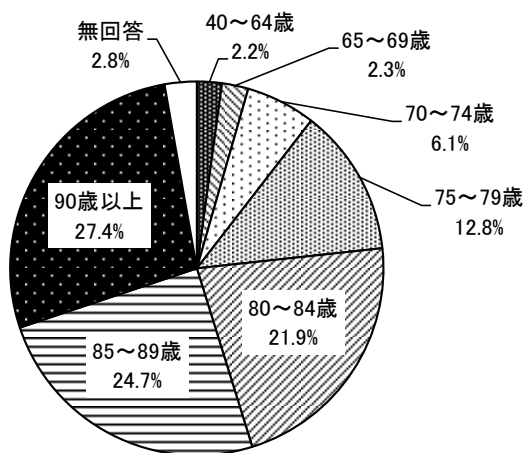
(%)

	前々回調査	前回調査	今回調査	差
	(R1年)	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
男性	31.5	32.6	32.9	0.3
女性	64.8	66.0	63.7	△ 2.3
無回答	3.7	1.4	3.4	2.0

(2) 年齢

年齢については、「90 歳以上」が 27.4%で最も高く、次いで「85～89 歳」が 24.7%、「80～84 歳」が 21.9%となっています。

全体 n=3,239



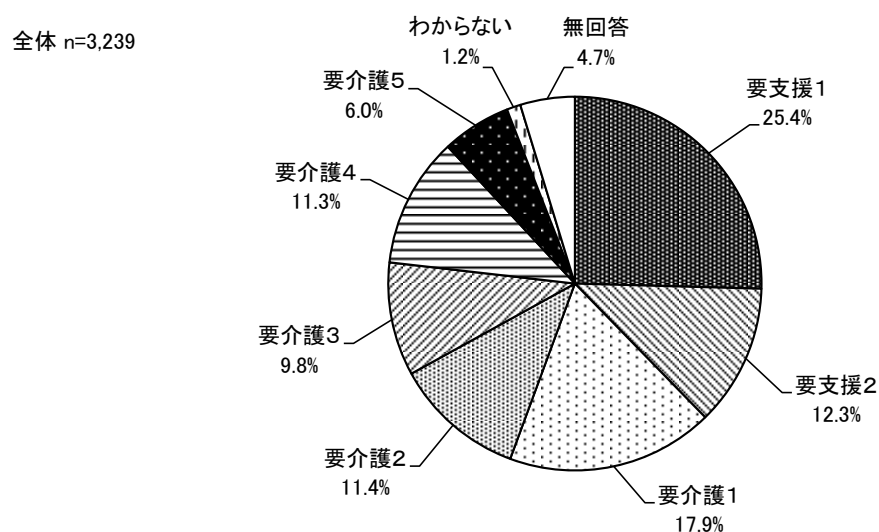
《参考》

(%)

	前々回調査 (R1年)	前回調査 (R4年)	今回調査 (R7年)	差 (R7－R4)
40～64歳	2.2	1.8	2.2	0.4
65～69歳	3.7	3.0	2.3	△ 0.7
70～74歳	7.8	7.6	6.1	△ 1.5
75～79歳	12.2	14.0	12.8	△ 1.2
80～84歳	20.8	21.0	21.9	0.9
85～89歳	27.1	25.5	24.7	△ 0.8
90歳以上	23.3	26.1	27.4	1.3
無回答	2.8	1.0	2.8	1.8

(3) 要介護度

要介護度については、「要支援 1」が 25.4%で最も高く、次いで「要介護 1」が 17.9%、「要支援 2」が 12.3%となっています。



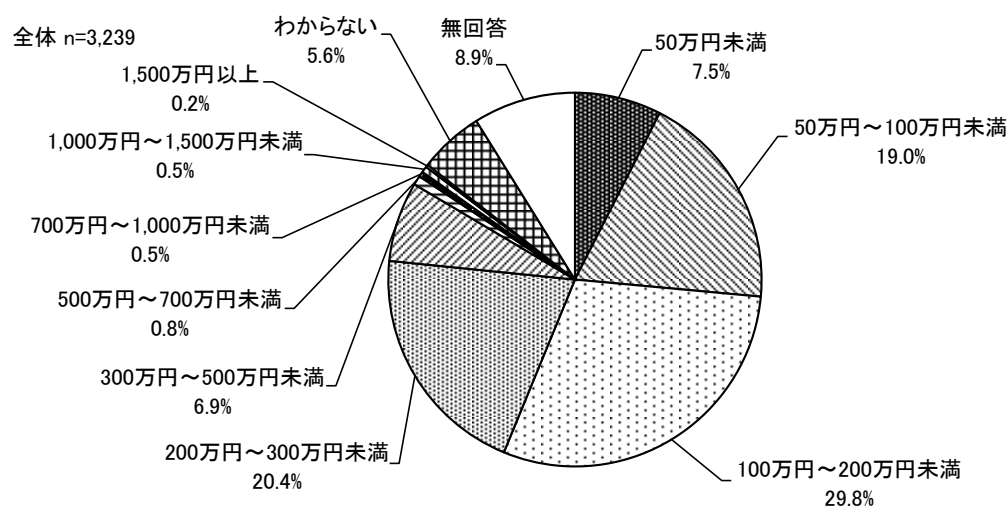
《参考》

(%)

	前々回調査 (R1年)	前回調査 (R4年)	今回調査 (R7年)	差 (R7－R4)
要支援 1	25.6	26.2	25.4	△ 0.8
要支援 2	12.1	13.3	12.3	△ 1.0
要介護 1	18.6	17.1	17.9	0.8
要介護 2	13.3	12.6	11.4	△ 1.2
要介護 3	9.5	9.4	9.8	0.4
要介護 4	8.0	9.9	11.3	1.4
要介護 5	7.2	7.2	6.0	△ 1.2
わからない	1.1	1.1	1.2	0.1
無回答	4.5	3.2	4.7	1.5

(4) 本人の年間総収入

本人の年間総収入額については、「100万円～200万円未満」が29.8%で最も高く、次いで「200万円～300万円未満」が20.4%、「50万円～100万円未満」が19.0%となっています。

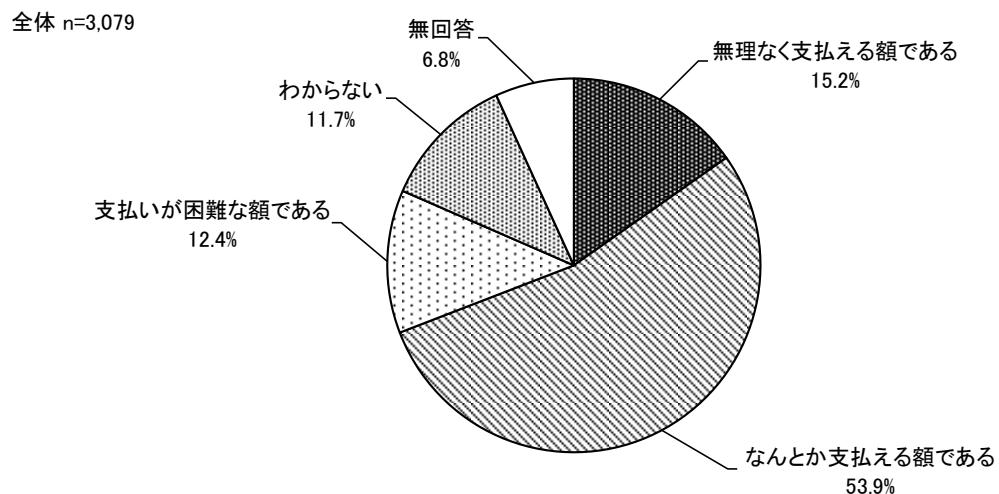


《参考》

	前々回調査	前回調査	今回調査	差
	(R1年)	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
50万円未満	10.3	8.2	7.5	△ 0.7
50万円～100万円未満	19.8	20.9	19.0	△ 1.9
100万円～200万円未満	30.7	29.9	29.8	△ 0.1
200万円～300万円未満	18.9	21.1	20.4	△ 0.7
300万円～500万円未満	7.3	6.4	6.9	0.5
500万円～700万円未満	1.0	0.8	0.8	0.0
700万円～1,000万円未満	0.4	0.5	0.5	0.0
1,000万円～1,500万円未満	0.5	0.4	0.5	0.1
1,500万円以上	0.3	0.2	0.2	0.0
わからない	3.4	4.6	5.6	1.0
無回答	7.4	7.0	8.9	1.9

(5) 保険料の負担感

保険料の負担感については、「なんとか支払える額である」が 53.9%で最も高く、次いで「無理なく支払える額である」が 15.2%、「支払いが困難な額である」が 12.4%となっています。



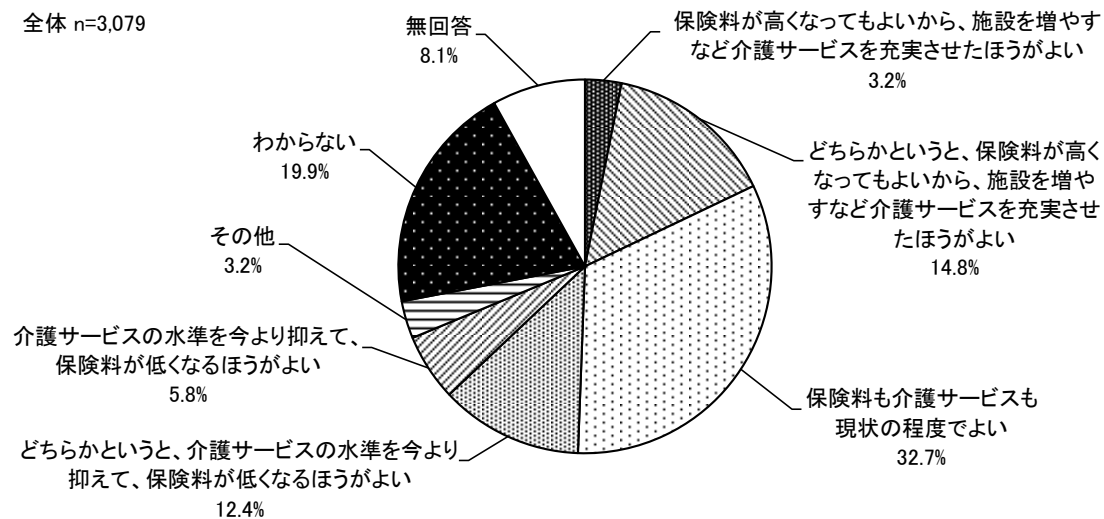
《参考》

(%)

	前々回調査 (R1年)	前回調査 (R4年)	今回調査 (R7年)	差 (R7－R4)
無理なく支払える額である	13.6	14.6	15.2	0.6
なんとか支払える額である	56.8	54.9	53.9	△ 1.0
支払いが困難な額である	12.5	12.5	12.4	△ 0.1
わからない	9.0	11.1	11.7	0.6
無回答	8.1	7.0	6.8	△ 0.2

(6) 保険料と介護サービスのあり方

保険料と介護サービスのあり方については、「保険料も介護サービスも現状の程度でよい」が 32.7%で最も高く、次いで「わからない」が 19.9%、「どちらかというと、保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい」が 14.8%となっています。



《参考》

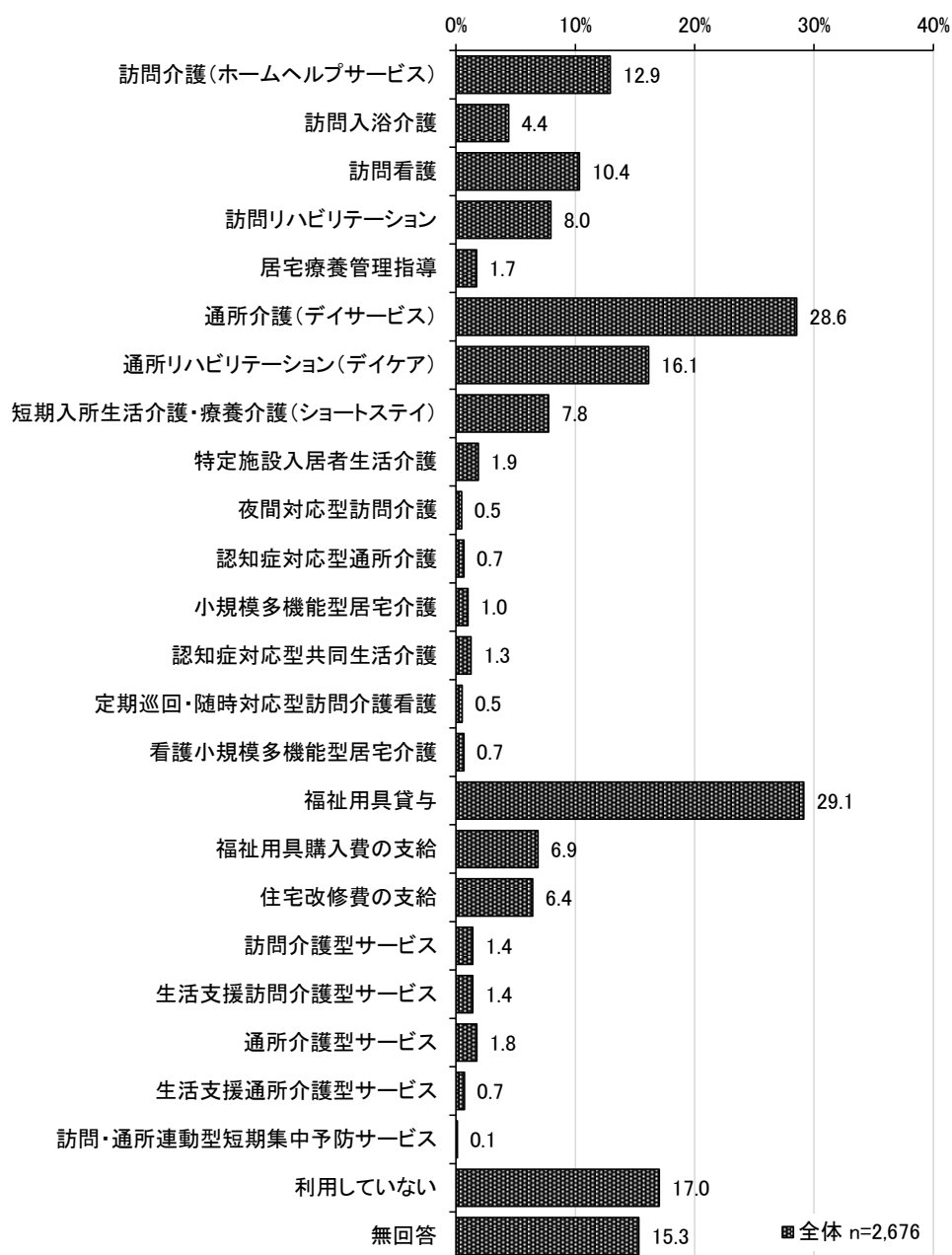
(%)

	前々回調査 (R1年)	前回調査 (R4年)	今回調査 (R7年)	差 (R7-R4)
保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい	9.0	3.4	3.2	△ 0.2
どちらかというと、保険料が高くなってもよいから、施設を増やすなど介護サービスを充実させたほうがよい	-	14.3	14.8	0.5
保険料も介護サービスも現状の程度でよい	44.2	35.2	32.7	△ 2.5
どちらかというと、介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい	-	11.8	12.4	0.6
介護サービスの水準を今より抑えて、保険料が低くなるほうがよい	16.1	6.6	5.8	△ 0.8
その他	5.1	3.6	3.2	△ 0.4
わからない	18.2	17.9	19.9	2.0
無回答	7.4	7.1	8.1	1.0

※前々回調査（R1年）は選択肢が一部異なる。

(7) 現在利用している在宅サービスの種類【複数回答】

現在利用している在宅サービスの種類については、「福祉用具貸与」が29.1%で最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」が28.6%、「通所リハビリテーション（デイケア）」が16.1%となっています。
 なお、「利用していない」は17.0%となっています。



《参考》

(%)

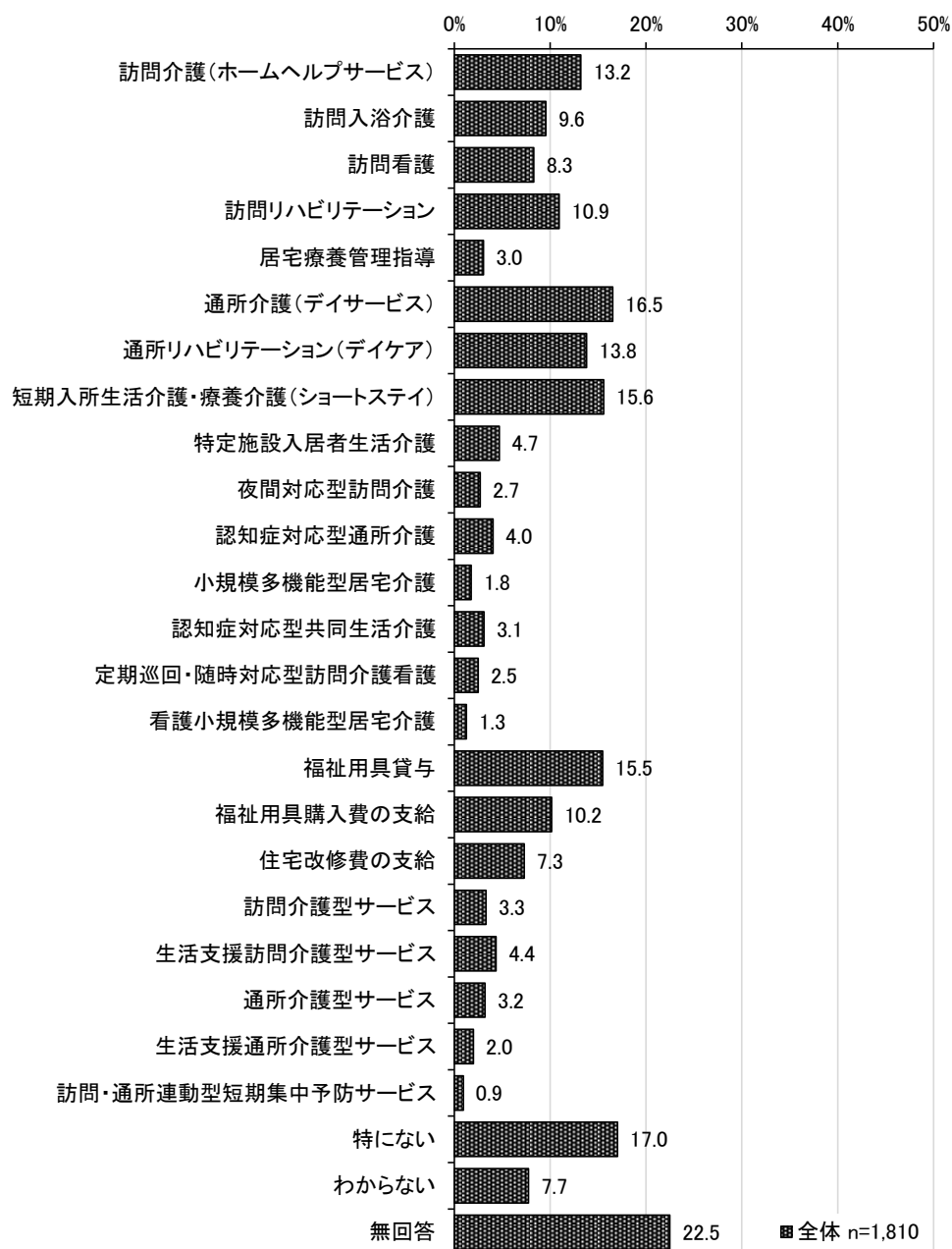
	前々回調査	前回調査	今回調査	差
	(R1年)	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
訪問介護（ホームヘルプサービス）	15.4	13.8	12.9	△ 0.9
訪問入浴介護	5.5	4.6	4.4	△ 0.2
訪問看護	8.1	7.8	10.4	2.6
訪問リハビリテーション	6.5	6.1	8.0	1.9
居宅療養管理指導	5.2	1.7	1.7	0.0
通所介護（デイサービス）	35.0	28.1	28.6	0.5
通所リハビリテーション（デイケア）	20.2	15.3	16.1	0.8
短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	15.0	8.1	7.8	△ 0.3
特定施設入居者生活介護	1.4	2.5	1.9	△ 0.6
夜間対応型訪問介護	0.5	0.5	0.5	0.0
認知症対応型通所介護	1.0	1.0	0.7	△ 0.3
小規模多機能型居宅介護	2.0	1.1	1.0	△ 0.1
認知症対応型共同生活介護	1.6	1.7	1.3	△ 0.4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3.9	0.8	0.5	△ 0.3
看護小規模多機能型居宅介護	0.7	0.4	0.7	0.3
福祉用具貸与	25.7	28.3	29.1	0.8
福祉用具購入費の支給	6.8	6.5	6.9	0.4
住宅改修費の支給	6.6	6.2	6.4	0.2
訪問介護型サービス	6.1	1.3	1.4	0.1
生活支援訪問介護型サービス	3.9	1.8	1.4	△ 0.4
訪問型短期集中予防サービス	0.2	0.1	－	－
通所介護型サービス	11.7	1.3	1.8	0.5
生活支援通所介護型サービス	3.6	1.3	0.7	△ 0.6
通所型短期集中予防サービス	0.9	0.4	－	－
訪問・通所連動型短期集中予防サービス	－	－	0.1	－
利用していない	15.3	16.2	17.0	0.8
無回答	12.8	13.3	15.3	2.0

※前回調査（R4年）、前々回調査（R1年）は選択肢が一部異なる。

(8) 今後利用したい、増やしたいと思う在宅サービス【複数回答】

今後利用したい、増やしたいと思う在宅サービスについては、「通所介護（デイサービス）」が 16.5% で最も高く、次いで「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」が 15.6%、「福祉用具貸与」が 15.5%となっています。

なお、「特にない」は 17.0%となっています。



《参考》

(%)

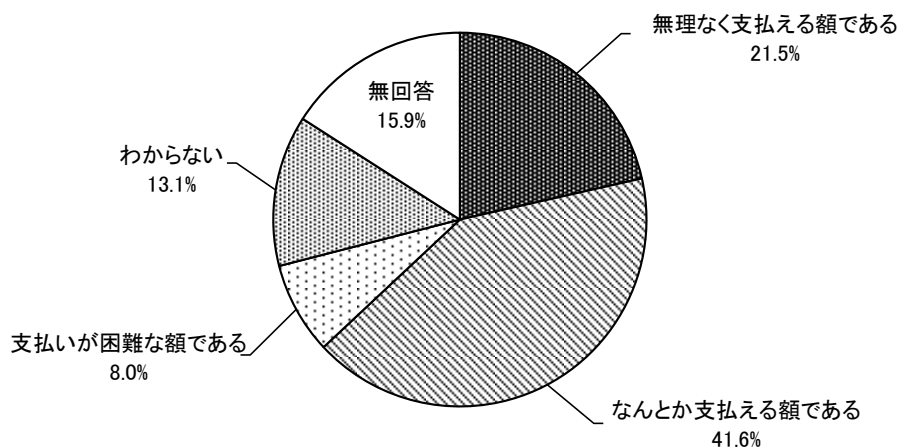
	前々回調査	前回調査	今回調査	差
	(R1年)	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
訪問介護（ホームヘルプサービス）	12.7	14.2	13.2	△ 1.0
訪問入浴介護	7.4	8.3	9.6	1.3
訪問看護	6.7	6.7	8.3	1.6
訪問リハビリテーション	7.5	9.3	10.9	1.6
居宅療養管理指導	2.3	2.5	3.0	0.5
通所介護（デイサービス）	17.4	14.9	16.5	1.6
通所リハビリテーション（デイケア）	12.1	11.6	13.8	2.2
短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）	18.4	17.8	15.6	△ 2.2
特定施設入居者生活介護	5.2	5.3	4.7	△ 0.6
夜間対応型訪問介護	2.1	4.0	2.7	△ 1.3
認知症対応型通所介護	4.5	4.7	4.0	△ 0.7
小規模多機能型居宅介護	1.8	2.0	1.8	△ 0.2
認知症対応型共同生活介護	3.9	4.0	3.1	△ 0.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1.9	2.8	2.5	△ 0.3
看護小規模多機能型居宅介護	0.8	1.3	1.3	0.0
福祉用具貸与	14.6	14.0	15.5	1.5
福祉用具購入費の支給	10.1	9.1	10.2	1.1
住宅改修費の支給	6.9	6.3	7.3	1.0
訪問介護型サービス	3.4	3.3	3.3	0.0
生活支援訪問介護型サービス	3.4	4.4	4.4	0.0
訪問型短期集中予防サービス	0.7	0.6	－	－
通所介護型サービス	3.9	2.6	3.2	0.6
生活支援通所介護型サービス	3.1	2.1	2.0	△ 0.1
通所型短期集中予防サービス	1.4	1.0	－	－
訪問・通所連動型短期集中予防サービス	－	－	0.9	－
特にない	16.0	17.8	17.0	△ 0.8
わからない	9.0	9.0	7.7	△ 1.3
無回答	18.6	18.2	22.5	4.3

※前回調査（R4年）、前々回調査（R1年）は選択肢が一部異なる。

(9) 利用者負担の負担感

利用者負担の負担感については、「なんとか支払える額である」が41.6%で最も高く、次いで「無理なく支払える額である」が21.5%、「わからない」が13.1%となっています。

全体 n=2,259



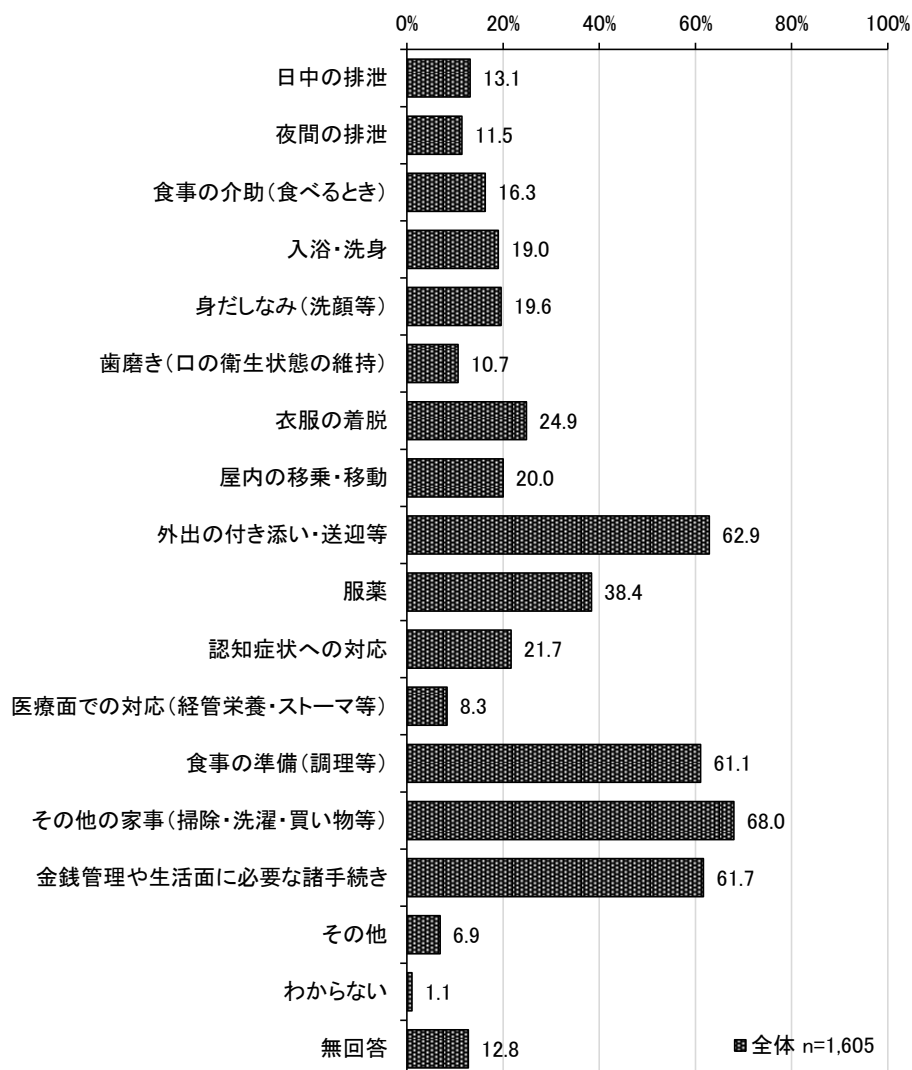
《参考》

(%)

	前々回調査 (R1年)	前回調査 (R4年)	今回調査 (R7年)	差 (R7-R4)
無理なく支払える額である	20.6	21.7	21.5	△ 0.2
なんとか支払える額である	42.7	43.1	41.6	△ 1.5
支払いが困難な額である	6.3	7.0	8.0	1.0
わからない	9.2	11.0	13.1	2.1
無回答	21.2	17.2	15.9	△ 1.3

(10) 介護者が行っている介護【複数回答】

介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が 68.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い・送迎等」が 62.9%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 61.7%となっています。



《参考》

(%)

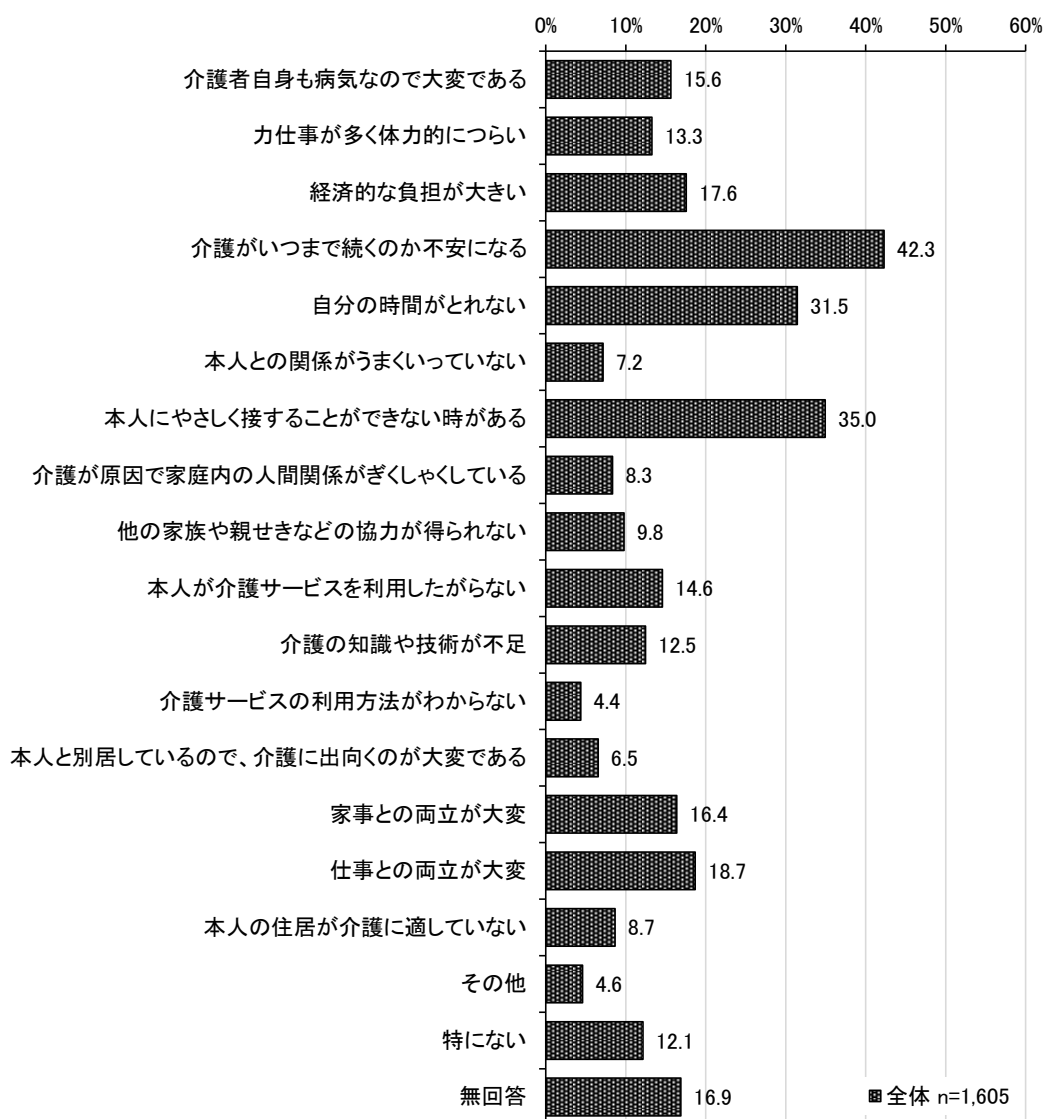
	前々回調査	前回調査	今回調査	差
	(R1年)	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
日中の排泄	14.1	16.3	13.1	△ 3.2
夜間の排泄	12.2	12.5	11.5	△ 1.0
食事の介助（食べる時）	18.1	17.2	16.3	△ 0.9
入浴・洗身	17.3	20.5	19.0	△ 1.5
身だしなみ（洗顔等）	21.3	22.3	19.6	△ 2.7
歯磨き（口の衛生状態の維持）	－	14.8	10.7	△ 4.1
衣服の着脱	25.5	27.1	24.9	△ 2.2
屋内の移乗・移動	18.0	20.5	20.0	△ 0.5
外出の付き添い・送迎等	58.8	62.9	62.9	0.0
服薬	38.1	40.7	38.4	△ 2.3
認知症状への対応	20.4	20.5	21.7	1.2
医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	9.9	10.3	8.3	△ 2.0
食事の準備（調理等）	58.5	63.5	61.1	△ 2.4
その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）	62.6	69.8	68.0	△ 1.8
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	56.9	61.5	61.7	0.2
その他	4.2	3.3	6.9	3.6
わからない	0.8	0.7	1.1	0.4
無回答	14.4	9.2	12.8	3.6

※前々回調査（R1年）は選択肢が一部異なる。

(11) 介護者が介護するうえで困った点・不満な点【複数回答】

介護者が介護するうえで困った点・不満な点については、「介護がいつまで続くのか不安になる」が42.3%で最も高く、次いで「本人にやさしく接することができない時がある」が35.0%、「自分の時間がとれない」が31.5%となっています。

なお、「特にない」は12.1%となっています。



《参考》

(%)

	前々回調査	前回調査	今回調査	差
	(R1年)	(R4年)	(R7年)	(R7－R4)
介護者自身も病気なので大変である	16.6	14.3	15.6	1.3
力仕事が多く体力的につらい	13.5	12.3	13.3	1.0
経済的な負担が大きい	14.8	14.4	17.6	3.2
介護がいつまで続くのか不安になる	38.8	40.2	42.3	2.1
自分の時間がとれない	29.4	30.4	31.5	1.1
本人との関係がうまくいっていない	5.7	6.5	7.2	0.7
本人にやさしく接することができない時がある	29.0	28.3	35.0	6.7
介護が原因で家庭内の人間関係がぎくしゃくしている	7.9	8.4	8.3	△ 0.1
他の家族や親せきなどの協力が得られない	10.2	9.4	9.8	0.4
本人が介護サービスを利用したがない	12.8	14.1	14.6	0.5
介護の知識や技術が不足	9.7	9.7	12.5	2.8
介護サービスの利用方法がわからない	3.8	5.1	4.4	△ 0.7
本人と別居しているので、介護に出向くのが大変である	6.0	6.0	6.5	0.5
家事との両立が大変	16.0	16.1	16.4	0.3
仕事との両立が大変	15.8	17.8	18.7	0.9
本人の住居が介護に適していない	7.1	8.4	8.7	0.3
その他	3.6	2.2	4.6	2.4
特にない	12.5	16.5	12.1	△ 4.4
無回答	18.7	11.9	16.9	5.0